

# 東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局  
いわて労連  
No.10  
2011.4.2

## ◆ボランティア受入体制確立へ

3月31日から全労連根本副議長が来県。災害ボランティアの受入を準備しています。

大船渡市越喜来にある民宿が受入センターとして候補に挙がり、4月1日に大船渡に現地調査に出かけました。

大船渡市では津波を免れた大船渡市役所を訪れ、大船渡市社会福祉協議会にボランティアの受入状況などを聞きました。がれきの片付けなどは手を出せないでいたということで、こちらの申し出は感謝されました。



大船渡市社協にボランティア状況を聞く

次いで知事選の海苔販売でお世話になった海苔業者さんを探し、会うことが出来ました。被災



物資販売をした海苔業者さんは無事

はしていましたが無事で、海苔代金の残金を手渡すことが出来ました。

大船渡民商の地域センターでは支援物資を広く市民にお知らせして自由に受け取れるようにしていました。



大船渡民商と支援センター

ボランティアの拠点となる旧三陸町越喜来にある民宿「あづま荘」を訪ねました。

「あづま荘」は越喜来の高台にあり、幸い津波の被害は免れましたが、その下にある越喜来の集落はすっかり津波で流されていました。



ボランティア拠点となる「あづま荘」

共同対策本部では現地で使えるよう軽トラックも1台リースし、態勢を整えています。

全国災対連からのボランティアは当面は大船渡、

陸前高田地区を重点に救援に入り、釜石地区、宮古地区も受入センターを作っていく予定です。  
「あづま荘」住所：大船渡市三陸町越喜来字仲崎浜3-2 電話090-4889-8312

全労連の災害ボランティアは4月7日を皮切りに現地に連続して入る予定です。また、全労連根本副議長と共に、事務処理等応援として全労連事務局OBの加藤益雄さん（盛岡市出身）と息子の文太郎さんもいわて労連に詰めています。

### ◆高田民商仮事務所が建ちました

津波に流されてしまった陸前高田民商の仮設事務所が新しく建ちました。今後、陸前高田地区のセンターとして活躍が期待されています。

住所：陸前高田市米崎町道の上42-1



アップロードに高田民商事務所再建

### ◆いわて生協1万食の牛丼炊き出し

いわて生協では全国肉牛事業協同組合より、救援物資として牛肉720kg、タマネギなどの食材を受け取りました。炊き出しボランティアを募り、4月2日から10日まで、避難所への1万食の牛丼の炊き出しを行っています。

### ◆五右衛門風呂贈りたい

被災地ではなかなかお風呂にも入れないだろうということで、広島の高茂NKサービスセンターの西川さんがスポンサーとなり、広島県廿日市の片山さんが平和委員会を通じ、五右衛門風呂を

贈りたいという話しが来ました。5セット用意できるということで、現在現在陸前高田と大船渡に輸送する予定になっています。

### ◆愛知から灯油支援

愛知県の、愛労連、建交労、自由法曹団の3者の取組で灯油の支援が来ます。ドラム缶でのべ20本（ポリタンク200個分）が順次送られてくることになり、宮古地区で活用する予定です。

### ◆自治労連「広報陸前高田」届ける

岩手自治労連では、盛岡市の「ふれあいランド岩手」で避難生活をおくる陸前高田市からの避難者103人の方に「広報りくぜんたかた」臨時号を人数分印刷し届け、感謝されました。

### ◆全国災対連第1便救援物資届く

共同対策センターで倉庫を確保したことにより、続々と物資が届いています。全国民



続々と物資搬入

医連からのトラックに続き、全国災対連からのトラック輸送も始まりました。4月2日、第1便のトラックが着き、51箱の支援物資が届けられました。



大阪からの救援物資